

Title	第四七〇回三田史学会
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1962
Jtitle	史学 Vol.35, No.1 (1962. 6) ,p.156- 156
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19620600-0156

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

王から Henry III 時代までのイギリス史の諸分野にわたつて、僅か二五二頁の内に、巧みにその主たる傾向を捉へて描いている。勿論この僅かな分量の内に、区々の問題についての解説を求めることは無理であるが、時に我々初学の徒が、一事に拘泥して全体の流れを等閑に附し勝ちな時、改めて全体の動向を知るには極めて好適の書のように思われる。特に執筆者が前途を属目せられている若い世代の学者であることが興味を惹く。

例えば、第三卷の「The Later Middle Ages」は G. Holmes が、第四卷の「The Tudor Ages」は Lawrence Stone が、第五卷の「The Century of Revolution」は Christopher Hill が執筆している。第五卷「The Century of Revolution」の緒言に於つて、著者 Christopher Hill が自著の特徴を示すために、「History is not a narrative of events. The historian's difficult task is to explain what happened..... This book tries to penetrate below the familiar events to grasp "what happened" と言っているが、これは又、同時に本書の特色であるようにも思われる。

本来一般読者をも考慮して書かれたもの故、詳しい脚註もなく、又参考書目録も詳細とはいえないが、参考書目録は、よく精選されているように思われる。

Sayles の The Mediaeval Foundations of England

よりも、又 Pelican History of England よりも、分量も少く、又著述の方向も異つているので、やはり一つの新しい入門書として意味があるであろう。

ここに掲げた Brooke の書に限る限り、大勢を知り、又社会、経済、思想等の諸分野間の関聯などを大づかみに捉へるには良い書物であり、又随所に新らしい研究の成果が取入れられていることも便利である。

早く完結されることを待望してやまない。

(森岡敬一郎)

彙 報

第四七〇回三田史学会

昭和三十七年五月二十四日 於一〇九番教室

時代と個人 富田正文氏